

情報と社会レポート表紙

学籍番号 _____ 氏名 _____

《採点指針》

剽窃行為	0 点
------	-----

※剽窃行為（著作権侵害）が認められる場合は以下の評価を行わずに 0 点とする。

期限内提出	5 点
-------	-----

項目／評価基準	A+ (5 点)	A (4 点)	B (3 点)	C (2 点)	D (1 点)
引用方法 (メリット・デ メリット部)	引用部と自分の 書いた文章の区 別が明確で引用 マークがあり、文 献の出典の記載 に間違いがない。	引用部と自分の 書いた文章の区 別が明確で引用 マークがあり、文 献の出典が記載 されている。	引用部と自分の 書いた文章の区 別が明確で引用 マークあり。		引用部と自分の 書いた文章の区 別が不明確（剽窃 の疑い）。
構成	メリット、デメリ ット、自分の意見 が揃っており、論 理展開に飛躍が ない。		メリット、デメリ ット、自分の意見 が揃っている。		メリット、デメリ ット、自分の意見 が揃っていない。
文体	「ですます調」と 「である調」の混 在、話し言葉、変 換間違い等がな い。	「ですます調」と 「である調」の混 在、話し言葉、変 換間違い等がほ とんどない。	「ですます調」と 「である調」の混 在、話し言葉、変 換間違い等が見 られる。	「ですます調」と 「である調」の混 在、話し言葉、変 換間違い等が多 い。	「ですます調」と 「である調」の混 在、話し言葉、変 換間違い等が多 すぎる。
項目／評価基準	A+ (10 点)	A (8 点)	B (6 点)	C (4 点)	D (2 点)
自分の意見	自分の意見が引 用部と比べ質的 かつ量的に主と なっている。	自分の意見が引 用部と比べ質的 または量的に主 となっている。	自分の意見が述 べられている。	自分の意見が意 見でなく単なる 感想。	自分の意見が他 の資料の丸写し かそれに近い状 態。

合計	点
----	---

中間レポートについて

テーマ

- 情報通信技術の進展により私たちの生活はどのように変化したか。1 つテーマを取り上げ、その情報通信技術（機器）がもたらしたメリットとデメリットをまとめなさい。その上で、取り上げた情報通信技術（機器）をどのように利用すべきかについて自分の意見を述べなさい
- メリットとデメリットについては個人的な体験を通した意見を述べてもよいが、それだけでなく少なくとも 1 つ以上の資料を参照すること
- 参照する資料は書籍または論文に限る。統計データや新聞記事は参照してもよいが、「1 つ以上の資料」には含まないものとする。また論文はページ数が 6 ページ以上のものに限る（6 ページを下回る場合は学会発表のレジュメや紹介記事である場合が多いため）
- 自分の意見は参照した資料に書かれている著者の意見ではなく、自分の意見であること

テーマの例

- 携帯電話、スマートフォン
- ネットショッピング、電子マネー
- カーナビゲーション、自動ブレーキや自動追従システム等の車両技術

作成要領

- 書籍の検索は原則としてメディアセンターの OPAC を使用する。学内に所蔵がない場合は、慶應義塾大学図書館資料検索システムを使用するとよい
- 論文検索は CiNii の「本文あり、または連携サービスへのリンクあり」を用いると PDF 形式で全文が読める論文を探ることができる。見つからない場合は CiNii「すべて」や JDreamIII で検索する。この場合はメディアセンターでの複写依頼が必要（有料（300 円程度）で取り寄せ期間 1 週間程度）
- 用紙：A4 サイズ（縦置き横書き）で 2 枚とする（2000 字程度）
- 作成方法：ワードプロセッサを使用（Word や Writer）
- 書式：上下左右の余白や文字の大きさについては特に指定しないが、読みやすくすること

提出要領

- 所定の表紙をつけて提出する
- 12/16（月）、1/6（月）、1/20（月）、1/22（水）のいずれかの授業終了時に提出する
- 他の提出方法は認めない（紛失の可能性があるので）
- 表紙に採点基準が書いてあるので、該当する評価に○をつけて返却する